

令和5年度事業報告

事業概要

我が国では、人口減少、少子高齢化が進行し生産年齢人口は減少してきています。このような状況下、高齢者の一層の活躍が期待される状況にあり、2021年度に改正高年齢者雇用安定法が施行され、70歳までの就業機会の確保が事業主の努力義務となりました。総務省の労働力調査によると65歳～69歳の就業率は2021年に5割を超え、男性に限ると60%を上回っています。また、令和5年9月の総務省統計によると、2022年の65歳以上の就業者数は2021年より3万人増加し912万人と1968年以降で過去最多を更新、生産年齢人口の減少を高齢者の働き手が補っている状況が如実に数字に表れています。

一方、リクルートの調査(2023年8月12日付日本経済新聞掲載)では、「60歳～74歳の就職希望者のうち53.7%が仕事を探しても見つかっていない」ことが判明したそうです。経済的な理由から70歳以降も働く意向を持っている高齢者が増加傾向にあり、高齢者への就業機会の提供は私たちシルバー人材センターに課せられた大きな使命の一つと考えています。

会員増強は全国的にも喫緊の課題であり、引き続きいろいろな方策を講じ会員増強につとめてまいります。事業実績は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行になったこともあり順調に推移いたしました。就業時の事故は、請負事業による賠償事故が6件、傷害事故が1件発生し計7件、前年度比2件の減少となりました。一方、派遣事業における傷害事故は1件発生し、前年度比1件の増加となりました。今後も安全就業対策を徹底してまいります。

以下、諸事業の実施状況の概要を報告いたします。

1 会員拡大推進事業

令和5年度末会員数 261人(男性 153人・女性 108人)

会員数の推移 (毎年3月31日現在)

年 度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
会 員 数	261人	248人	258人	276人	291人
対前年増減	13人	△10人	△18人	△15人	△21人
対前年増減率	5.2%	△3.9%	△6.5%	△5.2%	△6.7%
平均年齢	73.8歳	73.8歳	73.6歳	73.6歳	73.2歳

2 就業機会提供事業の推進

雇用によらない臨時的かつ短期的な請負・委任事業の実績は、受注件数は、前年対比1.6パーセント、契約金額は前年対比1.0パーセントの増加となりましたが、就業延人員は前年対比0.4パーセントの減少となりました。

また、雇用による労働者派遣事業（シルバー派遣事業）の実績は、受注件数は、前年と同件数、就業延人員は前年対比4.2パーセント、契約金額は前年対比4.1パーセントといずれも増加となりました。

なお、職業紹介事業は本年度の求人、求職ともに0件でした。

事業実績の比較（請負・委任契約分）（毎年3月31日現在）

区 分	令和5年度	令和4年度	増 減	増 減 率
受 注 件 数	3,993件	3,930件	63件	1.6%
就 業 実 人 員	214人	210人	4人	1.9%
就 業 延 人 員	24,401人	24,507人	△106人	△0.4%
契 約 金 額	90,736,474円	89,770,564円	965,910円	1.0%
就 業 率	82.0%	84.7%	△2.7%	—

事業実績の比較（労働者派遣契約分）（毎年3月31日現在）

区 分	令和5年度	令和4年度	増 減	増 減 率
受注(契約)件数	34件	34件	—	—
就 業 延 人 員	6,261人	6,010人	251人	4.2%
契 約 金 額	40,203,991円	38,603,721円	1,600,270円	4.1%

3 安全・適正就業の推進

安全・適正就業は、安全・適正就業委員会で決定した「安全・適正就業推進計画」に基づき、安全就業標語の募集及び就業現場の指導・点検のための「安全パトロール」を実施し、「指導改善報告書」を基に安全就業に努めました。

また、各職群班において安全対策員を中心に作成された「安全就業対策推進計画書」により安全対策を推進してまいりましたが、賠償事故は6件（前年度5件）と増加、傷害事故は、2件（前年度4件）と減少しました。

[安全パトロールの実施状況]

実施月	パトロール現場の職種と箇所
4月～3月 延10回	剪定（12）、草刈（9）、除草（1）、襖・障子（2）、その他（2） 計26現場

[賠償事故発生状況]

事故発生日	作業内容	内 容	賠償額
7月27日	草刈作業	施設コンクリートにあたりキックバックし、水栓柱と水道管を破損した。	27,500円
7月27日	草刈作業	施設内の樹木にあたりキックバックし、施設内の配線を切断した。	16,500円
8月3日	襖張替作業	納品の為、車両を出庫時にシャッターへ接触した。	38,500円
8月21日	剪定作業	留守宅の剪定時、誤った木を伐採した。	474,900円
12月13日	剪定作業	切断した枝が隣接する駐車場の車に落下し破損した。	126,456円
2月29日	配布作業	配達中、配布先宅の石垣に車を接触。	165,325円

[傷害事故発生状況]

事故発生日	作業内容	内 容	性別・年齢、保険給付額等
10月22日	軽作業 (派遣)	就業途上、鉄板で滑り転倒。左膝下にひびが入った。	女 67歳 通院 4日 保険給付額 128,640円
12月19日	草刈作業	作業中、バランスを崩し水路に落下。左足踵を骨折。	男性 77歳 通院 2日 保険給付額 4,000円

4 普及啓発活動の推進

シルバー事業に対し、広く地域社会の理解と協力を得るため、9月30日に「プロムナード公園」で会員及び役職員59人の参加により、草刈・除草作業の社会奉仕活動を行い、シルバー事業の社会的意義を強くアピールしました。

また、全会員にセンター事業の動向等を周知する、事務局発行の「シルバーだより」は4回発行いたしました。

5 軽度生活援助事業及び育児支援の推進

倉吉市と委託契約を行っている倉吉市軽度生活援助事業は、弱い立場にある高齢者の日常生活を支えるための「家事・福祉サービス」とともに、個人家庭における洗濯・買物・炊事などの「家事サービス」、また、イベント会場等での「育児支援サービス」を行いました。

6 倉吉市介護支援ボランティア事業の推進

介護保険法に基づく地域支援事業として、高齢者の方が、介護ボランティア活動などを通して地域貢献や社会活動に参加することで、より健康で生きがいのある暮らしができることを目的した「倉吉市介護支援ボランティア事業」の管理機関として、「ボランティア会員」の新規加入研修会を開催いたしました。

また、会員拡大のためのチラシの全戸配布や「介護支援ボランティア受入機関」の拡大を行いました。

令和6年3月末現在の会員数は117人（前年度123人）となりました。

7 技能講習等の支援

鳥取県シルバー人材センター連合会による、中部地区の60歳以上の高齢者を対象とした、就業するために必要な知識、技能を身に付ける技能講習が次の通り開催されました。

〔技能講習中部地区開催状況〕

講習名	日程	参加者数	シルバー会員入会数
草刈技能講習	6月13日	13人	1人
調理補助スタッフ講習	7月24・25日	2人	0人
ハウスクリーニング講習	8月22・23日	2人	0人
剪定技能講習	9月4・5日	4人	1人
スマホ講習	11月22日	5人	0人
計		26人	2人